

みんなで守ろう子どもの安全



地域ぐるみで監視の強化を 公用車に防犯パネル 郵便車両もパトロールに協力

登下校時の子どもを狙った凶悪事件が相次いでいます。そこで、町と教育委員会では地域の皆さんとともに子どもたちの安全を守るため、警察や商工会、消防団など各種団体に協力を依頼して、「葉山町スクールガード」の取り組みに全力を挙げています。

また、この一環として、今年一月には葉山郵便局と「学校安全に関する覚書」を締結しました。これに基づき「葉山町スクールガード・パトロール中」のパネルやステッカーを付けた郵便車両による防犯パトロールも始まりました。

学校から帰宅途中の小学生を狙って、昨年末に広島と栃木の両県で相次いだ凶悪事件は、まだ皆さんの記憶に新しいことでしょうか。

登下校時の子どもたちの安全をどう守るかが、新たな問題としてクローズアップされました。

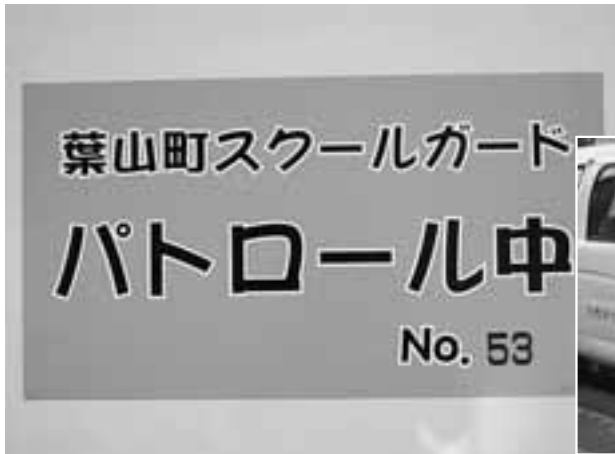
「葉山町スクールガード」の取り組みは、この両事件を教訓に、地域が一体となって、葉山の子どもの安全を守ろうとスタートしたものです。

町と教育委員会では、事件の直後から、各小・中学校に下校時の安全確保

に努めるよう指示しました。特に通学路を再点検し、危険箇所を把握した上で、安全マップ等を作成するよう、依頼しました。

また、葉山警察署に、下校時間帯のパトロールの強化を要請しました。これに基づき、現在、学校周辺や通学路を中心に、パトカー・バイクが重点的にパトロールを行っています。

このほか、地域ぐるみで防犯に取り組んでいる姿を広くアピールすることによって、犯罪の抑止効果を高めるため、遠くからでも目立つようグリーン



の地に黒で「葉山町スクールガード・パトロール中」と書いたマグネットパネル(百枚)や腕章(千枚)、ステッカー(五千枚)を新たに作成しました。すでにごみ収集車など四八台の公用車がマグネットパネルを車体に貼り付け、防犯パトロールを兼ねて、町中を走行しています。また、商工会を通じて、商店の営業車



などにも積極的に装着してもらう予定です。一方、腕章とステッカーも町内会・自治会をはじめ、学校のPTAや消防団分団OB会、女性防火防災クラブなど、町内の各団体への配布を予定しています。これによって地域の防犯意識を高め、犯罪が起こりにくい環境づくりの推進を図ります。



なお、ステッカーについては今後、希望する町民にも配布する予定です。「葉山町スクールガード」の取り組みでは、一月半ばから新しい試みも始まっています。葉山郵便局と連携した、郵便車両による防犯パトロールです。郵便車両は集配業務で毎日、町内を巡回していることから、教育委員会が協力を要請しました。現在、八台の郵便車両が「葉山町スクールガード・パトロール中」のパネルを付け、町内各地をパトロールしながら、不審者などに目を光らせています。今後は集配用のオートバイや外勤の



郵便局員にもステッカーを付けてもらう予定で、防犯効果がさらに高まるものと期待されています。問合せ 学校教育課 ☎内線四三三